



順化地区社会福祉協議会 ゆうゆうサロン



楽しい交流

3月公民館のデイホームに、大野のサロンのボランティアさんと、順化地区社協の前会長が漫才をしてくださいました。認知症予防に「笑う大切さ」「人と話す大切さ」「デイホームに足を運ぶ大切さ」を、奥越弁でおもしろく漫才で話してください、「ここに来てる方一人一人が、近所のお友達を一人誘ってデイホームに来ての」で漫才は終わりました。その言葉にみなさんも、笑って納得されました。その後、『ごんぐりごんぐり』の手遊びや、オカリナを披露した後、全員で「ふるさと」を手話をしながら合唱をしました。楽しい交流ができました。

順化地区専任職員 森下 龍子

越廼地区社会福祉協議会 越廼ふれあいサロン



楽しく体を動かしています

越廼地区デイホーム蒲生地区では、音楽に合わせて鈴の入ったソフトボールを、前後左右の人へ歌を歌いながらボール送りをしました。またボールを使って音楽に合わせてストレッチを行ったり棒体操も行いました。音楽に合わせて心地よくじんわり汗を流され、たくさんの笑い声も聞かせていただきました。たくさん話された後は、こぶ茶なども楽しまれ、これからはみなさんの笑顔をもっと見せていただきたいと思います。

越廼地区専任職員 齋藤 穂積

